

個人山行、札幌近郊砥石山（826・3m）

実施日：平成29年9月10日（日）

参加者：L 藤木（た）、小笠原、門間、太田、栗山、
本野、近藤……7名

行程：小林峠P発；9時25分、432mピーク；9時45分、470m付近小休止。10時35分、
T4分岐；10時50分、三角山；11時43分大休止、砥石山（826・3m）頂上；12時25分、昼食を摂る。発；13時10分、
T4分岐；14時10分、432mピーク；15時05分、小林峠P帰着；15時25分。

登り：3時間、下り：2時間15分

幌別駅に6時30分6名が集合、2台に分乗苦小牧で1名

が同乗、樽前支笏湖經由国道463号線を一路小林峠へ向かう。新しいトンネルを不安な気持ちで通る。

峠駐車帯に9時10分到着。 登山口



小林峠での参加者



いきなりの急登が始まる、約100mをゆっくり登る、登山道は両側を雑木に囲まれ日光が遮られ、有り難い、多少汗ばむ、最初のピーク432mに9時45分に到着一息を入れる、カラマツ林、とど松の植林地、雑木林の尾根道を辿り、470m付近で小休憩を採る。

10時50分 T4分岐（中ノ沢コースとの分岐）に到着



コースの3割方来た、一休みする。

ジグを切って登る、ここまで4～5このピークを踏んだ、起伏の多い尾根道だ。札幌市街の眺めが良い右側のコースを取り三角山を目指す、11時43分三角山の頂を踏む、先人が頂の真ん中で弁当を広げて居た。眺めも良く、多めの休憩を採る。



木の根、石屑の悪路を約30m位下る。低地で湿地みたい、損をした気分で内心悪態を就く。

コース一番の急騰が始まる、登山道は湿気があり滑る、息を弾ませ頂上を目指す。

12時25分砥石山（826・3m）の頂上を踏む。



余り眺めは良くないが神威岳、烏帽子、手稲山、大きな余市岳が望めた。昼食を摂り、13時10分頂上を後にする。下りはより慎重にあしを運ぶ、幾つものピークを登り返し、脚の膝が少し痛むも合わせ下山が遠く感じた。ぼりぼりのお土産をゲットした方もいて、15時25分登山口に全員無事帰着、ご苦労さんでした。起伏の多い尾根コースでしたがそれなりに楽しんだ、有難うございました。

帰りは苦小牧のアルテンに入浴、疲れを癒し、19時30分帰宅、リーダー、会計さんに感謝します。